

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05010090

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	B		
単位施策	3	母子保健・女性の健康支援の充実	政策事務分類	4	法定自治事務	
事業名	母子保健事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	5	保健福祉課	
事業主体	雄武町		関係課	8	保育所	
事業指標	乳幼児健診受診率		関係課	#N/A		
事業目標	98%		ハード/ソフト事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	有	事業の利用による児童の発育発達の促進	関係例規・法令名	有	母子保健法	
住民協働			関係個別計画名	有	次世代育成市町村行動計画	

全体計画		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計画	内容	妊娠・出産から子育て中の保護者・児童の健康増進と疾病の早期発見・対応及び育児支援を図る。 ・母子健康手帳の交付 ・妊婦健診受診券の交付 ・乳幼児健診・健康相談の実施 ・母乳育児相談の実施 ・タッチケア講座の開催	・母子健康手帳の交付 ・妊婦健診受診券の交付 ・乳幼児健診・健康相談の実施 ・母乳育児相談の実施 ・タッチケア講座の開催	・母子健康手帳の交付 ・妊婦健診受診券の交付 ・乳幼児健診・健康相談の実施 ・母乳育児相談の実施 ・タッチケア講座の開催	・母子健康手帳の交付 ・妊婦健診受診券の交付 ・乳幼児健診・健康相談の実施 ・各種母子相談事業、健康講座開催	・母子健康手帳の交付 ・妊婦健診受診券の交付 ・乳幼児健診・健康相談の実施 ・各種母子相談事業、健康講座開催
	事業費	20,578	4,084	4,242	4,084	4,084
実績	事業費	14,392	3,463	3,851	3,141	3,937
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	20,578	4,084	4,242	4,084	4,084	
国庫支出金	100				100	
道支出金	253	57			196	
地方債	0					
その他	0					
一般財源	14,039	3,406	3,851	3,141	3,641	
関連事項	特定財源の名称 ・妊婦健康検査支援事業補助金	【評価・実績】	(実施内容等) ・母子健康手帳の交付 34名 ・妊婦健診受診者数 延545名 ・乳幼児健診 年10回 延196名 受診率102% ・子育て講話等参加者218名 ・乳幼児相談・訪問 537名 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・母子健康手帳の交付 35名 ・妊婦健診受診者数 延429名 ・乳幼児健診 年11回 延193名 受診率98.5% ・子育て講話等参加者222名 ・乳幼児相談・訪問 559名 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・母子健康手帳の交付 29名 ・妊婦健診受診者数 延556名 ・乳幼児健診 年11回 延193名 受診率99.0% ・子育て講話等参加者243名 ・乳幼児相談・訪問 612名 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・母子健康手帳の交付 25名 ・妊婦健診受診者数 延315名 ・乳幼児健診 年11回 延209名100% ・子育て講話等参加者230名 ・乳幼児相談・訪問 741名 ・妊産婦交通費助成 25名 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	98%	98%	98%	98%
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	85%	91%	77%	96%
		全体達成率	17%	36%	51%	70%
	備考欄					

事業名	母子保健事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	保健係長	河原 真由美

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	子育て中の保護者、児童	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	乳幼児健診受診率		
【抱える課題やニーズは】	児は心身ともに自立に向けた発育、発達途中であり、保護者が育児などに悩みを抱えやすい時期であり支援の必要性が高い。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	保護者:育児に喜びや楽しみを感じることができる。 児童:健全な発育、発達を遂げることができる。		① 乳幼児健診受診率	目標年度	平成28年度
				目標値	98%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	喜びや楽しみを感じながら育児を行う保護者が増え、児童が健全に発育、発達できる。	② 乳幼児健診受診率(前年度比)	実績値	100%	
			達成度	102.0%	
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	妊産婦支援	母子健康手帳、妊婦健診受診票の交付、妊婦交通費の助成、妊婦精密健診費用の助成、子育て講話等における個別相談、家庭訪問等による相談支援の実施			
	乳幼児等児童支援、保護者支援	訪問指導、乳幼児健康診査(3・4か月、9・10か月、1歳6か月、3歳)、乳幼児相談(6・7か月、2歳)、養育者支援関連事業(妊産婦、新生児、3・4か月健診時の児童虐待アセスメント及び個別支援)、子育て講話			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	母子保健法、児童福祉法などにに基づき、市町村実施義務がある。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	乳幼児健診やその他事業への参加率は高く、目標達成している。また、妊婦健診や交通費の助成についても訪問時等に現場で聞かれる対象者の満足度は高く、子育て支援への町の姿勢を示す機会となっている。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	健診対象者を全月齢に設定しての実施や子育て支援センター、教育委員会等関係機関との連携により効率化を図った。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	子育て世代の経済負担なく事業を利用できる体制は重要と考える。広報や町ホームページ等により町民に広く健診実施を周知し、公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
雄武町の乳幼児全てに関わることができる事業は児童の健全な発育・発達を支援するうえで有効であり必要性が高い。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
今後も子育て支援センターや保育所、自立相談支援事業等関係機関との連携を図り、健全な発育発達のための支援を継続する。また、妊婦健診や交通費等経済的支援についても継続する。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止